

3. 事例紹介

(1) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 各大学の取組

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 各大学の取組

(旧 女性研究者研究活動支援事業)

研究環境整備 (育児支援)

京都大学 (病児保育施設)



<取組内容>

- 「病児保育室こもも」の設置
※平成18年2月、京都大学医学部附属病院内に開設。大学病院内に病児保育室を設置した例は国立大学法人として初。
- 受入対象：学内の教職員・研究者・学生の病中・病後の子供（生後6ヶ月～小学校3年生）
- 体制：看護師・保育士が常駐
- 「感染隔離室」の設置
- 受入対象：発熱や胃腸炎症状のある子供
- 体制：専属の小児科医を配置

→子供の病気の際も研究の遂行が可能

研究復帰支援

物質・材料研究機構 (再チャレンジ支援制度)

<取組内容>

- 育児・介護により研究を諦めた者の学位取得支援
- 対象：修士の学位を取得後、育児等で研究を中断した女性研究者
- 支援額：月額7万円(上限) ※研究業務員として雇用
- 支援期間：4年間(上限)
- 受入先：連携大学院(希望する研究室)

→研究者としての学び直しとキャリアアップを支援

柔軟な勤務体制の確立

東京女子医科大学 (ワークシェア制度)

<取組内容>

- 2人でポジションと給与を分ける
- 対象：医学研究に携わる女性研究者(特任助教) ※各自独立した研究を行う
- 勤務条件：週3日(下限)

→子育て時期の女性医学研究者のための勤務体制の多様化を推進

メンター制度の構築

上智大学 (グローバル・メンター制度)



<取組内容>

海外招聘客員教授など国際的に活躍する研究者がメンターとなって、若手女性研究者に対し、個別相談、講義、交流会、共同研究を通じてアドバイスや研究指導を行う。

→若手女性研究者の意識啓発

次世代育成

東北大学 (サイエンス・エンジニア制度)



<取組内容>

- 女子小中高生の理系進路選択啓発活動
- 対象：自然科学系部局に在籍する女子大学院生
- ※サイエンス・エンジェル(時間雇用職員)として雇用
- 取組：小中高における出張セミナー、サイエンスカフェ等の実施、東北大学女性研究者フォーラムへの参加等

→理系進路選択啓発とともに女子大学院生自身の自己啓発も促進

研究環境整備 (研究・教育サポーター)

北海道大学 (産休・育休中の教育研究代替のための人材供給システム)

<取組内容>

- 研究・教育サポーターの配置のためのシステムの構築
- 産休・育休中に代替人材を速やかに配置できるように研究・教育サポーターを学内外から募集・登録する人材バンクを構築

→女性を中心に研究教育能力をもつ人材のキャリアア継続・キャリア復帰を支援